

追加型投信/内外/株式/インデックス型

# eMAXIS Neo バーチャルリアリティ

## 設定来の運用状況に関して

\*Virtual Reality (VR) : 仮想現実  
Augmented Reality (AR) : 拡張現実

当資料はeMAXIS Neo バーチャルリアリティの運用状況を報告するために概略を記載したものです。このため、ファンドのお申込みメモなどについては投資信託説明書(交付目論見書)をご確認いただく必要があります。

- 当ファンド設定来の騰落率は35.8%となりました(2020年1月21日時点)。
- ARフィルターを搭載した動画投稿SNSアプリを提供するスナップや、VRヘッドセットOculusを開発するフェイスブックなどが基準価額上昇に寄与しました。
- 今後6年間で米国におけるバーチャルリアリティ市場の売上高は約4倍になると予測\*されており、ヘッドセット、対応ゲーム、周辺機器等のさらなる普及が期待されます。

\* (出所) statista、2018年3月時点における2019年~2025年の市場予想に基づく

### 当ファンドの基準価額およびS&P500指数 (円換算)



#### ↓ 設定来の寄与度順

#### 当ファンド組入銘柄と騰落率 (米ドル建て)

順位	銘柄名	業種	組入以降の騰落率
1	スナップ	メディア・娯楽	200%
2	ピステオン	自動車・自動車部品	14%
3	エヌビディア	半導体・半導体製造装置	47%
4	アドバンスト・マイクロ・デバイセズ	半導体・半導体製造装置	115%
5	フェイスブック	メディア・娯楽	57%
6	STマイクロエレクトロニクス	半導体・半導体製造装置	78%
7	マイクロン・テクノロジー*	半導体・半導体製造装置	77%
8	アップル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	72%
9	ガーミン	耐久消費財・アパレル	44%

順位	銘柄名	業種	組入以降の騰落率
10	マイクロソフト	ソフトウェア・サービス	49%
11	アンパレラ	半導体・半導体製造装置	48%
12	アルファベット	メディア・娯楽	33%
13	L3ハリス・テクノロジーズ*	資本財	17%
14	エルビット・システムズ	資本財	25%
15	スリーディー・システムズ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	-10%
16	ゴープロ	耐久消費財・アパレル	-18%
17	PTC	ソフトウェア・サービス	-11%
18	ハイマックス・テクノロジーズ	半導体・半導体製造装置	-8%

(出所) Datastream、Bloombergを基に三菱UFJ国際投信作成 (基準価額のグラフ) 期間: 2018/12/3 (設定日) ~ 2020/1/21、日次・基準価額 (1万口当たり) は信託報酬控除後の値です。信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・S&P500指数 (円換算) は配当込み。米ドル建て指数を基に三菱UFJ国際投信が円換算し、開始日=10,000として指数化。当ファンドのベンチマークではありません。米国株式市場全体の値動きを参考としてお示しするため当指数を使用。計測期間が異なる場合は結果も異なる点にご注意ください。(組入銘柄の騰落率) 2019年12月30日時点の当ファンド組入銘柄について設定日~2020/1/21までの騰落率を表示 (設定日以降に組入れた銘柄 (\*印) は組入時点からの騰落率)。途中売却した銘柄は除外。業種はGICS産業分類を使用。

■上記は当ファンドの理解を深めていただくため組入銘柄 (2019年12月30日時点) をご説明するものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮していません。■最終面の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」を必ずご覧ください。

## 3Dシステムズ

組入れ第3位 (組入比率8.6%)

\*Virtual Reality (VR) : 仮想現実  
Augmented Reality (AR) : 拡張現実

デザインから試作品制作、実際の製造まで、包括的な3Dプリントソリューションを提供。同社の3Dプリンターはプラスチック、金属を始め多様な素材に対応しており、顧客とする業界はヘルスケア、航空宇宙産業、自動車、耐久財など幅広い。

## AR / VR for HEALTHCARE

医療装置として「3Dバーチャルリアリティシミュレータ」を提供。AR/VR技術を用い、医療関係者が技術を習得したり、実際の手術環境に近い部屋をバーチャル空間上に投影し、手術のシミュレーションを行うことなどが可能となる。



画像はVRを活用した手術シミュレーションのイメージです。

## PTC

組入れ第4位 (組入比率8.6%)

世界的なソフトウェア開発企業で、企業のデジタル化をサポートする。コンピュータによる設計ツール (CAD) などの製品がビジネスの中心だったが、近年はIoTソリューションおよび産業用AR分野が拡大している。

## Augmented Reality for INDUSTRY

「Vuforia」ブランドで産業向けにARプラットフォームを提供。製造現場などにおけるトレーニング、熟練技術者の技術伝承といった多様なケースに対応が可能で導入・カスタマイズも容易。



画像はARを活用した技術トレーニングのイメージです。

## ビステオン

組入れ第5位 (組入比率7.9%)

自動車コックピット部品の世界的サプライヤー。デジタル化が進む自動車において自動運転システムやスマートフォン接続システム、サイバーセキュリティ技術といったソフトウェアを主要な自動車メーカーへ提供するテクノロジー企業。

## Augmented Reality for DRIVING

ARを活用したヘッドアップディスプレイ (HUD) を開発。AIによって道路状況を検出し、ナビ情報はもちろん、車線や障害物をARによってフロントガラスに投影する。  
(現在多くのHUDは独立したモニターとして設置)



画像は自動車のフロントガラスに投影されたARのイメージです。

## ファンドの目的・特色

### 【ファンドの目的】

S&P Kensho Virtual Reality Index（配当込み、円換算ベース）の値動きに連動する投資成果をめざします。

### 【ファンドの特色】

- ①S&P Kensho Virtual Reality Index（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。  
S&P Kensho Virtual Reality Index（配当込み、円換算ベース）をベンチマークとします。  
※S&P Kensho Virtual Reality Index(配当込み、円換算ベース)は、S&P Kensho Virtual Reality Index（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が計算したものです。

#### <S&P Kensho Virtual Reality Indexについて>

AIを活用し、企業の開示情報などの膨大な文献を自動的に処理すること等を通じて、第4次産業革命\*の原動力となる技術群（テーマ）に沿った銘柄を選定する「S&P Kenshoニューエコノミー指数」の一つです。

このインデックスでは、バーチャルリアリティ関連企業\*\*の銘柄を選定します。

\*第4次産業革命とは、モノのインターネット「IoT (Internet of Things)」や「人工知能 (AI)」等による技術革新によって、産業を大きく変革しようとする取り組み。

\*\*バーチャルリアリティ関連企業とは、対象インデックスを提供するKensho Technologies,LLC（以下、Kensho社）が考える、バーチャルリアリティに関連する製品やサービスを提供する企業をいいます。

- ②主として、米国の金融商品取引所に上場している、日本を含む世界各国のバーチャルリアリティ関連企業の株式等（DR（預託証券）を含みます。）に投資します。

- ③原則として、為替ヘッジは行いません。

#### 分配方針：

- 年1回の決算時（8月17日（休業日の場合は翌営業日））に分配金額を決定します。
- 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。  
ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。  
(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

## 投資リスク

### ■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみならず帰属します。したがって、投資者のみならず投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

- 価格変動リスク：一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
- 為替変動リスク：組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。
- 信用リスク：組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
- 流動性リスク：有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。
- 特定のテーマに沿った銘柄に投資するリスク：ファンドは、特定のテーマ（バーチャルリアリティ）に沿った銘柄に投資するため、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。また、より幅広い銘柄に分散投資する場合と比べてファンドの基準価額が大きく変動する場合があります。

ファンドは、中小型株にも投資を行うため、大型株中心に投資する場合に比べ、価格変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

### ■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- ・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のペビエファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。
- ・ファンドは、S&P Kensho Virtual Reality Index（配当込み、円換算ベース）の動きに連動することをめざして運用を行います。信託報酬、売買委託手数料等を負担すること、現物株式投資の代替で投資した株価指数先物取引等と当該指数の動きが連動しないこと、売買約定価格と当該指数の評価価格の差が生じること、指数構成銘柄と組入銘柄の違いおよびそれらの構成比の違いが生じること、当該指数を構成する銘柄が変更になること、為替の評価による影響等の要因により乖離を生じることがあります。

### ●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会: 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufj.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

### ●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

## ファンドの費用

### お客さまが直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料：ありません。	換金時	信託財産留保額：ありません。
-----	---------------	-----	----------------

### お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用 (信託報酬)	日々の純資産総額に対して、 <b>年率0.792%(税抜 年率0.72%)以内</b> をかけた額
	その他の費用 ・手数料	次の費用・手数料についてもファンドが負担します。・監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

### 販売会社情報一覧 (今後、下記の販売会社については変更となる場合があります)

2020年1月22日時点

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第15号	○		○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○		○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号	○		○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
丸三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

#### <ファンドのベンチマークについて>

■S&P Kensho Virtual Reality Index (「本指数」)は、S&P Globalの一部門であるS&P Dow Jones Indices LLC (「SPDJ」)の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS&P®はStandard & Poor's Financial Services LLC (「S&P」)の登録商標で、Dow Jones®はDow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」)の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJに、特定の目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社にそれぞれ付与されています。本商品は、SPDJ、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社(総称して「S&P Dow Jones Indices」)によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではありません。S&P Dow Jones Indicesは、本商品の所有者またはいかなる一般人に対して、株式全般または具体的に本商品への投資の妥当性、あるいは全般的な市場のパフォーマンスを追従する本指数の能力に関して、明示または黙示を問わず、いかなる表明または保証もしません。本指数に関して、S&P Dow Jones Indicesと三菱UFJ国際投信株式会社との間にある唯一の関係は、本指数とS&P Dow Jones Indicesまたはそのライセンサーの特定の商標、サービスマーク、および商標名のライセンス供与です。本指数は三菱UFJ国際投信株式会社または本商品に関係なく、S&P Dow Jones Indicesによって決定、構成、計算されます。S&P Dow Jones Indicesは、本指数の決定、構成または計算において三菱UFJ国際投信株式会社または本商品の所有者の要求を考慮する義務を負いません。S&P Dow Jones Indicesは、本商品の価格または数量、あるいは本商品の発行または販売のタイミングの決定、本商品が将来換金、譲渡、または償還される計算式の決定または計算に関して責任を負わず、またこれに関与したことはありません。S&P Dow Jones Indicesは、本商品の管理、マーケティング、または取引に関して、いかなる義務または責任も負いません。本指数に基づく投資商品が、指数のパフォーマンスを正確に追従する、あるいはプラスの投資収益を提供する保証はありません。S&P Dow Jones Indices LLCは投資顧問会社ではありません。本指数に証券が含まれることは、S&P Dow Jones Indicesがかかる証券の売り、買い、またはホルドの推奨を意味するのではなく、投資アドバイザーとして見なしてはなりません。S&P Dow Jones Indicesは、本指数またはその関連データ、あるいは口頭または書面の通信(電子通信も含む)を含むがこれに限定されないあらゆる通信について、その妥当性、正確性、適時性、または完全性を保証しません。S&P Dow Jones Indicesは、これに含まれる誤り、欠落または中断に対して、いかなる義務または責任も負わないものとします。S&P Dow Jones Indicesは、明示的または黙示的を問わず、いかなる保証もせず、本指数またはそれに関連するデータの商品性、特定の目的または使用への適合性、それらを使用することによって三菱UFJ国際投信株式会社、本商品の所有者、またはその他の人物や組織が得られる結果について、一切の保証を明示的に否認します。上記を制限することなく、いかなる場合においても、S&P Dow Jones Indicesは、利益の逸失、営業損失、時間または信用の喪失を含むがこれらに限定されない、間接的、特別、懲罰的、または派生的損害に対して、たとえその可能性について知らされていたとしても、契約の記述、不法行為、または厳格責任の有無を問わず、一切の責任を負わないものとします。S&P Dow Jones Indicesのライセンサーを除き、S&P Dow Jones Indicesと三菱UFJ国際投信株式会社との間の契約または取り決めの第三者受益者は存在しません。本商品は、Kenshoがスポンサー行為、保証、販売または販売促進を行うものではありません。本指数は、本商品を考慮することなく決定、構成および計算されるものであり、Kenshoは、本指数の決定、構成または計算にあたり、本商品の所有者の要望を考慮する義務を負いません。Kenshoは、本商品の所有者またはいかなる一般人に対しても、特に本商品への投資の当否に関して、明示的にも暗示的にも、何ら表明または保証を行いません。Kenshoは、証券の価値に関して、または証券、スワップ取引、証券関連スワップ契約もしくはその他のコモディティの売買にかかる契約等商品への投資の当否に関して、投資助言を提供するものではなく、また分析もしくは報告を公表・頒布するものではありません。本指数は、投資助言にあたるものではなく、またそのようになしたり、または解釈されるべきではありません。Kenshoは、その可能性について知らされていたかにかかわらず、いかなる場合においても、本指数、本指数値またはその構成銘柄情報を使用する者(本商品の投資家を含みますが、これに制限されることはありません。)に対し、本指数の設計、編集、計算、メンテナンスもしくはスポンサー行為または本商品に関連して生じるかかる損失、損害、費用、料金、支出その他のあらゆる債務について、それが特別的、懲罰的、間接的または派生的な損失、損害、費用、料金、支出その他のあらゆる責任(事業機会の逸失、逸失利益、時間の損失およびのれんの損失を含みます。)であるかを問わず、一切の責任を負いません。

#### ■GICS(世界産業分類基準)について

・Global Industry Classification Standard("GICS")は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor's)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

#### <当資料のご利用にあたっての注意事項等>

- 当資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡する最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

PM20-00276